

タラロマイセス・フラバス水和剤（商品名：タフパール）のイチゴうどんこ病・トマト葉かび病に対する防除効果

農業・園芸総合研究所

1 取り上げた理由

タラロマイセス・フラバスを有効成分とする微生物殺菌剤のうち、バイオトラスト水和剤のイチゴ炭疽病に対する効果については、普及に移す技術第78号に参考資料として示した。今回、新たなタラロマイセス・フラバス水和剤（フロアブル製剤）として（商品名：タフパール）が農薬登録され、そのイチゴうどんこ病及びトマト葉かび病に対する有効性を確認したことから普及情報とする。

2 普及情報

- 1) タフパールの2,000倍液散布は、イチゴうどんこ病に対し、高い防除効果を示す（図1）。
- 2) タフパールはトマト葉かび病にも防除効果を示すが、夏期の使用ではやや防除効果が劣る場合がある（図2, 3）。
 - a 薬剤名：タラロマイセス・フラバス水和剤（商品名：タフパール）
 - a) 有効成分：タラロマイセス・フラバス SAY-Y-94-01株孢子 5×10^8 cfu/ml
 - b) 製剤；褐色懸濁油状液体（フロアブル）
 - c) 毒性：普通物
 - b 使用方法
 - a) 使用方法：2,000～4,000倍液散布（150～300リットル/10a）
 - b) 使用時期：育苗期～収穫前日（イチゴの場合）
発病前～発病初期（トマト、ミニトマトの場合）
 - c) 使用回数：－
 - c 適用病害
イチゴ：うどんこ病，炭疽病 トマト・ミニトマト：葉かび病

3 利活用の留意点

- 1) 本剤はタラロマイセス・フラバスの生孢子を有効成分とする微生物農薬である。化学合成殺菌剤との混用及び近接散布については注意点多い。製造元の出光興産株式会社のホームページに詳細な記載があるので参考にする（<http://www.idemitsu.co.jp/agri/biseibutsu/tahu/pdf/tahu02.pdf>）。
- 2) 本剤は予防剤である。病害発生前から化学合成農薬を取り入れた体系防除の一剤として使用することにより、高い防除効果が期待できる。
- 3) 本剤の包装は100ml単位で、価格は約3,360円である。

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

新農薬による園芸病害虫の防除 (平成17年～18年度)

2) 参考データ

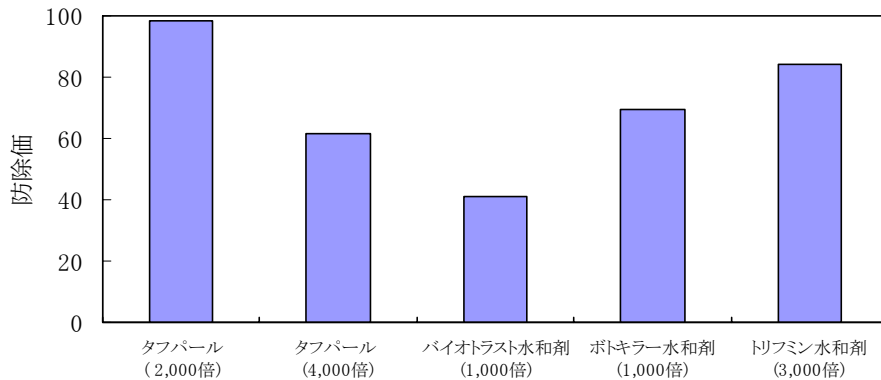


図1 イチゴうどんこ病に対する防除効果 (平成17年)

注) 防除価は発病度の平均から算出

薬剤処理日: 5月6日, 16日, 24日, 6月1日, 8日 (計5回)

調査日: 6月17日 (最終散布9日後)

品種: とちおとめ

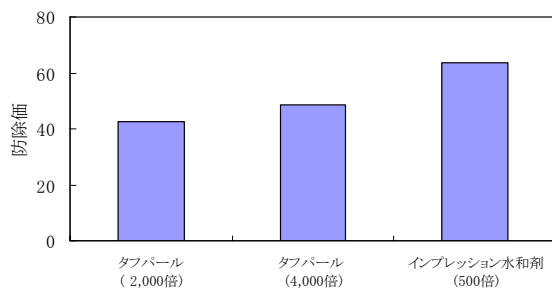


図2 トマト葉かび病に対する防除効果 (平成18年)

注) 防除価は発病度の平均から算出

薬剤処理日: 6月9日, 16日, 23日, 30日 (計4回)

病原菌の接種: 6月12日に第1果房より下位の葉に 10^4 /ml

胞子液を20ml/株噴霧接種

調査日: 7月7日 (最終散布7日後)

品種: ハウス桃太郎

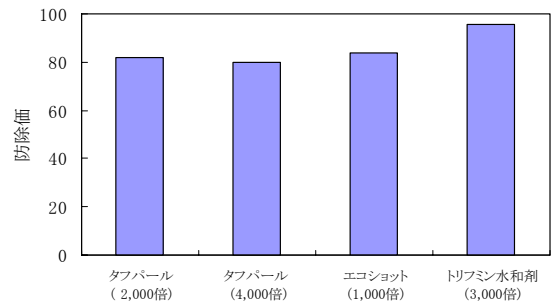


図3 トマト葉かび病に対する防除効果 (参考データ)

(平成17年・秋田県農業試験場)

注) 防除価は発病度の平均から算出

薬剤処理日: 7月15日, 22日, 29日 (計3回)

調査日: 8月11日 (最終散布12日後)

品種: 桃太郎エイト

3) 発表論文等

なし